

対話型全国説明会の試行的実施の概要

昨年12月、「科学的特性マップに関する意見交換会」の参加者募集に関する調査結果及び再発防止等に向けた提言を当機構評議員会より受領いたしました。これを踏まえて、「直営実施業務・委託実施業務の区分」、「業務委託の管理の徹底・強化」及び「説明会等の開催ルールの整備」を中心とした再発防止策を機構内で取りまとめました。これらの再発防止策を反映し、手作り・直営実施を基本とした「対話型全国説明会」を以下の通り試行的に開催します。

この試行的な取組みの中で頂戴したご指摘・ご意見なども踏まえて、今春以降、本格的に説明会を再開していく予定です。

1. 趣旨・目的

- ・経済産業省より「科学的特性マップ」が公表されたことを契機に、地層処分に関する国民のみなさまの関心や理解を深めていただくため、地層処分の仕組み及び日本の地質環境等について、広く一般の方々に説明し、情報提供を行うとともに、参加者のみなさまとの質疑応答等を通じて理解促進に資することとする。

2. 主催

- ・経済産業省資源エネルギー庁（以下、「エネ庁」という。）、原子力発電環境整備機構（以下、「機構」という）。

3. 開催日時・場所

- ・東京（23区内、23区外）、埼玉、神奈川、千葉の公民館、図書館、ショッピングモール等で開催する。

<開催日程>

2月21日（水）	午後	虎ノ門天徳ビル会議室【東京】
2月24日（土）	午後	埼玉教育会館【埼玉】
2月25日（日）	午後	多摩図書館【東京】
3月1日（木）	夜	神奈川産業振興センター【神奈川】
3月4日（日）	午後	イオンコンパス幕張会議室【千葉】

4. 参加者

- ・個人のご意思で申し込まれた方。

- ・但し、電気事業連合会及び10電力会社、日本原子力発電(株)、電源開発(株)、日本原燃(株)に在籍する役員・社員および各社の有価証券報告書等に記載された関係会社に在籍する役員・社員（以下、「電力関係者」とする。）が参加する場合は、関係者席に着席することを徹底する。

5. 参加者募集方法

- ・参加者募集は以下の方法で実施。
 - ①プレス発表
 - ②機構ホームページ (<http://www.numo.or.jp/taiwa/>)、メールマガジン、SNS、web広告
 - ③ポスター掲示
 - ④行政、経済団体、NPO等団体、教育関係者等を通じた一般の方への開催案内(案内チラシ等を利用)
- ・禁止事項
 - 謝金提供またはそれに類する便益供与等による参加者募集
 - 一般的な周知を超える参加要請

6. 開催方式等

- ・プログラム
 - 第1部（エネ庁職員、機構職員、専門家、電力会社による全体説明及び全体質疑）
 - 第2部（グループ質疑）

	午後開催(2時間30分)	夜開催(1時間30分)
第1部	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶(5分) ・DVD(15分) ・簡潔な説明(30分) ・全体質疑(30分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶(5分) ・DVD(15分) ・簡潔な説明(30分) —
休憩	<ul style="list-style-type: none"> ・休憩(10分) 	—
第2部	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ質疑(60分) 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ質疑(40分)

7. 開催結果公表

- ・機構ホームページ

8. 運営方法その他

- ・手作り・直営実施を基本方針とする。
- ・但し、チラシ等のデザイン等、業務遂行に当たって専門性および業務効率性の観点から必要な場合は外部の専門業者に直接委託する。